

平成21年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 キッツ
 代表者 代表取締役社長 堀田 康之
 (コード番号 6498)
 問合せ先責任者 経理部長 木村 太郎
 (TEL 043-299-0114)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	3,550	3,000	1,450	12.82
今回発表予想(B)	92,000	4,700	4,000	2,000	17.68
増減額(B-A)	2,000	1,150	1,000	550	
増減率(%)	2.2	32.4	33.3	37.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	127,095	7,188	6,475	3,396	30.02

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	1,650	1,800	1,150	10.16
今回発表予想(B)	48,000	2,100	2,200	1,450	12.82
増減額(B-A)	—	450	400	300	
増減率(%)	—	27.3	22.2	26.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	65,318	4,506	4,400	2,637	23.32

修正の理由

平成22年3月期第2四半期業績につきましては、期初より行ってまいりました固定費の大幅な削減もあり、当初予想を上回る利益を計上することができました。

通期の業績予想について、パルプ事業においては、国内市場では景気の低迷が継続することにより需要の回復が見込まれず、また海外市場においても輸出に関しては、為替が円高の水準にあり、採算が厳しい状況が続く他、米国、アジアでの需要の回復が見られないことから、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

また伸銅品事業においても、原材料相場が上昇基調で推移するとともに、需要の増加が見込まれず回復には時間を要するものと思われま。

このように先行きが不透明な状況であることから、期初に設定した下期見通しを据え置き、上期業績が予想を上回った部分につき、通期予想を修正するものです。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上